



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 フルサト工業株式会社
コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大西 聡

TEL 06-6946-9605

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	63,572	9.0	2,161	13.4	2,398	13.4	1,491	19.6
26年3月期第3四半期	58,331	3.7	1,906	16.0	2,115	13.3	1,246	30.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,587百万円 (△11.6%) 26年3月期第3四半期 1,796百万円 (111.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	102.84	—
26年3月期第3四半期	85.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	53,142	32,717	61.6	2,256.52
26年3月期	53,147	31,514	59.3	2,173.41

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 32,717百万円 26年3月期 31,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	24.50	29.50
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	33.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,300	△0.0	2,880	△7.3	3,180	△6.1	1,820	28.4	125.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,574,366 株	26年3月期	14,574,366 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	75,182 株	26年3月期	74,566 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	14,499,587 株	26年3月期3Q	14,509,176 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、震災復興の加速及び経済再生、財政再建等の政策により、緩やかな回復基調が続く中、設備投資はおおむね横ばいで推移し、生産は下げ止まりの傾向が見られました。

当社グループに関連の深い工作機械の内需受注は18ヵ月連続で前年プラスとなり、機械工業の生産指数は前年横ばいにて推移しました。建築着工床面積は前年比2桁減の状況が続いておりますが、SRC造を含む鉄骨造では1桁の減少となりました。

このような環境の中、当社グループでは付加価値の拡大によるお客様からの支持の獲得に努め、効率化の推進による収益の増加に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は635億7千2百万円（前年同期比9.0%増）となりました。営業利益は21億6千1百万円（同13.4%増）、経常利益は23億9千8百万円（同13.4%増）となりました。法人税等が9億7千1百万円となり、その結果、四半期純利益は14億9千1百万円（同19.6%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

当事業の売上高は312億2百万円（前年同期比5.5%増）となりました。堅調な生産稼働により、工業機器事業が同5.6%増、自動車向け機械工具事業は同2.3%増となりましたが、仕入先の倒産による契約解除に伴う費用処理等の結果、営業利益は同11.0%減の5億2百万円となりました。

(機械・設備事業)

当事業の売上高は108億8千4百万円（前年同期比18.4%増）となりました。工作機械等の受注が順調に推移したこと等により、工作機械事業が同19.4%増、FAシステム事業が同14.1%増となりました。これらの結果、営業利益は同80.0%増の2億2千6百万円となりました。

(建築・配管資材事業)

当事業の売上高は214億8千4百万円（前年同期比9.8%増）となりました。鉄骨建築資材事業は受注確保と値戻し活動の結果同9.0%増となり、配管資材事業は市場開拓の継続により同13.5%増となりました。これらの結果、営業利益は同13.6%増の13億4千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、531億4千2百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加3億6千4百万円、投資有価証券の増加3億3千2百万円等により固定資産が7億9千5百万円増加しましたが、現金及び預金の減少5億2千8百万円、受取手形及び売掛金の減少11億7千3百万円、電子記録債権の増加5億2千7百万円、商品及び製品の増加3億2百万円等により流動資産が7億9千9百万円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ12億8百万円減少し、204億2千4百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加2億6千万円等により固定負債が2億8千1百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少9億4千2百万円、未払法人税等の減少7億4千万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億6千万円等により流動負債が14億8千9百万円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加し、327億1千7百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当により4億2千7百万円減少、四半期純利益の計上により14億9千1百万円増加、その他有価証券評価差額金が9千3百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日に公表しました平成27年3月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数の割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が18,060千円増加、退職給付に係る負債が51,893千円減少、利益剰余金が45,120千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,393,407	8,864,501
受取手形及び売掛金	24,834,520	23,661,027
電子記録債権	800,014	1,327,518
有価証券	—	200,000
商品及び製品	3,093,998	3,396,302
仕掛品	510,622	447,751
原材料及び貯蔵品	135,083	135,642
繰延税金資産	328,389	182,548
その他	273,159	349,080
貸倒引当金	△43,349	△38,454
流動資産合計	39,325,846	38,525,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,087,233	3,135,472
土地	6,373,686	6,374,557
建設仮勘定	735,816	619
その他(純額)	324,281	375,347
有形固定資産合計	9,521,018	9,885,997
無形固定資産	64,171	61,220
投資その他の資産		
投資有価証券	2,884,852	3,217,693
退職給付に係る資産	175,633	232,951
その他	1,270,008	1,343,023
貸倒引当金	△94,299	△124,163
投資その他の資産合計	4,236,195	4,669,506
固定資産合計	13,821,384	14,616,724
資産合計	53,147,231	53,142,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,298,347	17,356,189
1年内返済予定の長期借入金	—	160,000
未払法人税等	930,683	190,660
賞与引当金	532,423	280,604
役員賞与引当金	25,860	21,990
災害損失引当金	1,012	1,012
その他	884,276	1,172,444
流動負債合計	20,672,602	19,182,901
固定負債		
長期借入金	—	260,000
繰延税金負債	693,625	771,489
退職給付に係る負債	83,050	29,439
その他	183,937	181,058
固定負債合計	960,613	1,241,987
負債合計	21,633,216	20,424,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	19,198,540	20,306,985
自己株式	△57,127	△58,084
株主資本合計	30,349,051	31,456,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,134,073	1,227,203
退職給付に係る調整累計額	30,890	34,013
その他の包括利益累計額合計	1,164,963	1,261,216
純資産合計	31,514,014	32,717,755
負債純資産合計	53,147,231	53,142,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	58,331,384	63,572,324
売上原価	49,722,099	54,348,195
売上総利益	8,609,284	9,224,129
販売費及び一般管理費	6,702,822	7,062,636
営業利益	1,906,462	2,161,493
営業外収益		
受取利息	7,348	8,148
受取配当金	37,491	42,105
仕入割引	325,629	359,326
受取賃貸料	24,461	23,997
その他	11,124	19,677
営業外収益合計	406,055	453,256
営業外費用		
支払利息	—	1,823
売上割引	180,430	200,835
賃貸収入原価	2,342	2,189
その他	14,005	11,330
営業外費用合計	196,777	216,178
経常利益	2,115,740	2,398,571
特別利益		
投資有価証券売却益	46,300	64,627
特別利益合計	46,300	64,627
特別損失		
固定資産除却損	5,515	—
投資有価証券売却損	3	200
特別損失合計	5,518	200
税金等調整前四半期純利益	2,156,522	2,462,999
法人税、住民税及び事業税	706,606	828,654
法人税等調整額	203,129	143,277
法人税等合計	909,736	971,932
少数株主損益調整前四半期純利益	1,246,786	1,491,066
四半期純利益	1,246,786	1,491,066

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,246,786	1,491,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549,681	93,130
退職給付に係る調整額	—	3,122
その他の包括利益合計	549,681	96,253
四半期包括利益	1,796,467	1,587,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,796,467	1,587,320
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,574,151	9,190,737	19,566,495	58,331,384	—	58,331,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	702,786	252,781	22,426	977,994	△977,994	—
計	30,276,938	9,443,518	19,588,921	59,309,378	△977,994	58,331,384
セグメント利益	564,514	125,945	1,185,890	1,876,350	30,112	1,906,462

(注)① セグメント利益の調整額30,112千円には、セグメント間取引消去33,936千円、たな卸資産の調整額△3,824千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,202,815	10,884,792	21,484,716	63,572,324	—	63,572,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	822,988	84,001	17,247	924,237	△924,237	—
計	32,025,803	10,968,794	21,501,964	64,496,562	△924,237	63,572,324
セグメント利益	502,249	226,730	1,347,100	2,076,080	85,412	2,161,493

(注)① セグメント利益の調整額85,412千円には、セグメント間取引消去89,371千円、たな卸資産の調整額△3,959千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。